

伝統の灯をともし
花街の芸妓にときめく



かつて「織物の町」として栄えた八王子には、商人たちの社交場として花街が形成されていた。宴席で歌舞音曲を披露し、興を添える芸妓も多数いたが、時代の流れとともに花柳界は衰退、芸妓の数も減少の一途をたどっていた。

花街の伝統を守ろう——行動を起こしたのは、今では置屋ゆき乃恵の女将を務めるめぐみさん。新人芸妓を公募するなど画期的な試みに挑み、地元商店主らも伝統文化の伝承・発信を目的とした「黒堀に親しむ会」を結成し応援。後進の育成に努めたことで、今は20代の芸妓も増えてきた。また、お座敷だけでなく、地元行事にも積極的に参加し技芸を披露して、地域の活性化にも貢献している。

八王子 置屋ゆき乃恵

☎042-623-1888

📍八王子市中町9-9

🔗 Links



八王子の花街に
ぜひ遊びに来てください

花街の再興を目指して

多摩地域で唯一の花街があった中町地区に、花柳界の伝統文化を伝える「桑都テラス」がオープン。八王子芸妓衆と地域の架け橋として注目されている。

